

PFOSとPFOAについて

1. PFOS・PFOA とは

PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA(ペルフルオロオクタン酸)

(1)物理化学的性状

化学的に極めて安定。水溶性、不揮発性のため、環境中に放出された場合は水系に移行しやすい。難分解性のため長期的に環境に残留すると考えられている。

(2)国内の規制

PFOS、PFOA については、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)により、原則として製造や輸入等が禁止されている。

2. 水道水及び水環境に係る目標値等

(1)水道水

令和2年4月1日に、水質管理目標設定項目に位置付けられるとともに、PFOS と PFOA の合算値で、1リットル当たり 50 ナノグラム※(50ng/L)とする目標値(暫定)を国が設定。

(2)水環境(公共用水域及び地下水)

令和2年5月 28 日に、要監視項目に位置付けられるとともに、PFOS と PFOA の合算値で、1リットル当たり 50 ナノグラム※(50ng/L)とする指針値(暫定)を国が設定。

※ナノグラム(ng)は10億分の1グラムを示す単位

(3)目標値の考え方

水質の目標値(暫定)は、設定当時の科学的知見に基づき、体重 50 kg の人が水を一生にわたって毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと考えられる水準を基に設定されたもの。